

板橋区立高島第二小学校 令和6年度 学校経営方針



めざす学校像 「子どもたちが、学ぶ楽しさを感じることでできる学校」

多様性を尊重し合い、協働により学び合う子ども

高島なかよし通り学びのエリア ～めざす子ども像～

- 「自立」 自ら考え、正しく判断し、責任ある言動ができる子ども
- 「貢献」 社会の一員としての自覚をもち、進んでみんなのために行動できる子ども
- 「共生」 自他の生命を尊重し、思いやりをもって人と接する子ども
- 「創造」 よりよい社会をめざして新たな考えを生み出し、未来のために実践する子ども

高島第二小学校 ～教育目標～ 【持続可能な社会の創り手となる児童の育成】

- ◎ 【自立】考える子 主体的に学習し、学び合いにより深く考えようとする子ども
- 【貢献】行動する子 きまりを守り、みんなのために行動しようとする子ども
- 【共生】思いやる子 相手を思いやる豊かな心で、協力しようとする子ども
- 【創造】創り出す子 よりよい生活をめざして、新しい考えを創り出そうとする子ども

「保幼小接続・小中一貫教育」

- 幼稚園から中学校まで、12年間の発達段階に応じた系統的かつ効果的な指導。
- 幼稚園・小学校・中学校全ての校種の教職員が協力して切れ目のない教育を実践。

「いじめ・不登校の防止」

- 学校いじめ未然防止等基本方針に基づき、アセスメント等を活用した早期対応。
- 不登校対策マニュアルに基づき、全教職員での対応と関係諸機関との連携による早期解決。

「特別支援教育の充実」

- 「学校生活支援シート」「個別指導計画」を活用し、児童一人ひとりに応じた合理的配慮の提供。
- 特別支援学級との児童と通常の学級の児童との交流活動の充実。

「わかる、できる、楽しい授業」

- 児童の心を揺さぶる授業を実践。
- 主体的に学ぶ意欲の向上と基礎基本の定着。
- 探究的な学習を重視し、解決への過程が学べるように、授業を工夫。
- 生涯にわたって学び続ける力の向上。

「学び合う力の育成」

- 児童が協働し、答えのない課題に立ち向かう力を育成。
【協働的な学び】
- 多様性を認め合い、対話によりウェル・ビーイングの社会を築くための素地を醸成。

「教員の指導力向上」

- 「板橋区 授業スタンダード」徹底と授業革新。
- 新規採用教員及びミドルリーダーを中心とした人材育成基本計画に基づくOJTの実施。

「一人一台タブレットの活用」

- 児童一人ひとりの特性や学習到達度に合わせた柔軟な指導方法の設定。【指導の個別化】
- 児童の興味・関心等に応じ、児童自身が学習が最適となるように調整。【学習の個性化】
- 正しく安全に活用するための情報モラルの育成。

「保護者・地域の方との協力・連携」

- コミュニティ・スクール委員会での熟議を生かした学校運営。【開かれた学校】
- ホームページの充実による教育活動への理解・啓発。

「教職員の働き方改革」

- 教員が教育に専念できる環境の整備による、児童のための教育の質の向上。
- 会議・行事の精選とともに、定時退勤日・最終退勤時間の設定による教職員の意識改革。